

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年 2部3年	保育実習指導Ⅱ	担当教員	
サブタイトル	保育所保育を理解し実践力を高める	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	通年	出席要件	
到 達 目 標			
保育士資格を取得するための基本実習である「保育実習Ⅰ」を経験した後、指導計画（指導案）を立て、部分実習、責任実習を中心に保育所保育の実際を学ぶ。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、「①幼児教育に対する情熱や責任感を身につけている」、「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」、「③多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につけている。」ことを目指す。			
授 業 の 方 法			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学内オリエンテーションおよび学外オリエンテーション、実習終了後の報告会等を行う。 2. 原則として、重要事項の説明等に関しては講義形式で行う。 3. 各自の考察や作業に関しては、ペアワークやグループワークを通して意見交換や発表を行う。 4. 必要に応じて、ロールプレイを実施する。 			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『実習の手引き』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017年 『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』わかば社 2017年</p> <p>教 材：『実習録』、VTR等の視聴覚教材等</p> <p>参考図書：授業で使用するテキスト等</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 実習前後のレポート課題の内容		レポート	30%
2. 保育実習ノート（保育所）の記録内容		実習ノート	30%
3. 実習録の内容		実習録	30%
4. 授業（実習指導・実習後指導）への貢献度		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションの欠席・遅刻、提出課題の未提出者は、実習配属を見送る場合がある。 2. 保育を学ぶ実習生としての自覚を持ち授業、実習に臨むこと。 3. 実習オリエンテーションの指導時の服装は、フォーマルスーツで参加すること。 			

科目名 保育実習指導Ⅱ

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	実習総合オリエンテーション	保育所実習Ⅱの基礎知識 保育所全般の理解
2回	保育所実習（第1回）関連の面談指導	実習に臨む姿勢
3回	学内オリエンテーション（1） ①保育所実習の意義と目的 ②実習前レポート課題の提示	実習の意義・目的の理解
4回	学内オリエンテーション（2） ①子どものあそびを読み取る	保育所の理解
5回	②保育所指針、年間案、月案について	保育所の理解
6回	学内オリエンテーション（3） 実習課題作成	実習課題を把握する力
7回	学内オリエンテーション（4） ①指導案の作成<1>	指導案の作成力
8回	②指導案の作成<2>	指導案の作成力
9回	③指導案の作成<3>	指導案の作成力
10回	学内オリエンテーション（5） 実習録の記入方法等	実習記録の方法
11回	学外オリエンテーション 実習先の保育所（園）において、実習方法、持ち物、留意事項などについて指導を受ける	実習全般の理解
12回	学内オリエンテーション（6） 実習の心得と諸注意	実習の心構え
13回	実習中の巡回訪問とスーパービジョン	学習成果の確認
14回	実習報告会 ①報告書の作成 ②グループ・ディスカッション	記録の方法 分析力
15回	全体報告会 まとめ	まとめる力